

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
編集者：代表幹事 高橋 賢一  
連絡先：市民活動支援センター  
尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
(渋川福祉センター内)  
TEL 0561-51-2878



父信玄も落とせなかつた高天神城を手に入れた勝頼は、その後を「徳川領攻略」に絞った。家康の居城、浜松城を孤立させるための作戦のうちの一つが長篠城奪取であった。長篠城を奪うから、岡崎城、吉田城を落城させるという計画である。

馬防柵を巧みに利用した野戦築城作戦を展開

信長には勝頼誘いに乗ったと見せて逆に、以勝作戦があった。馬防柵や大量の鉄砲を以て佐久間盛信の偽装内応の餌を撒いていたのがある。設楽原を決戦の場所を選んだのも信長であった。西軍の脚を丸める連吾川周辺は水田帯とあって泥田状態になっていた。



2017/05/12

(上) 新陳名が山と山の間を開通する前の風景 田んぼとマコモダケ生育地。

▼左に見えるのが馬防柵、生育マコモダケが伸び始めた。(木村先生の地所)



2017/05/12

### ▲歴史の学習(徳島新城市)

「のび太は実は、人生の勝ち組であった。」  
「どえもん」とも大きく読んでみると、パワーハラスメントといふ問題から環境問題など現代社会が抱える問題をほとんど取り込んでいます。  
「どえもん」の中には大人にとっても関係の深い話題やメッセージが入っている。普段当たり前に前だと思える人間関係こそ大切にするなど。



▶大きなマコモダケを食育でたばる準備。